

500冊を町に 寄贈していただきました

6月26日(金)松田町寄の福昌院の住職平賀康雄さん(元文化財保護委員長)が「松田氏」について長年、調査研究を手がけ、今回その集大成とも言えるべく、著書「相模松田氏の興亡 加えて波多野氏、大森氏後北条氏との関わり」を発刊されました。



本書は、文字も大きく、章立ても分かりやすく読みやすい構成となっています。また昨年好評の「全国松田サミット」の際に、「子孫のこと」のパネラーとしてお話いただいた独自調査に基づくことも記載されていて、大変興味深くかつ貴重なものです。ぜひ「一家に一冊」持ってみてはいかがでしょうか。興味関心がある方は、生涯学習推進課(☎(83)7021)にお申し込みください。先着順に希望者に謹呈します。

町民大学第1回 7/4(土)

テーマは「今からできるフレイル予防～食事と体操～」講師は、三輪陽香さん(中北薬品株式会社 管理栄養士)です。

フレイルとは、年齢とともに体力・気力が低下した状態のことを言い、フレイルにならないための食事や体操などを教えていただきました。

栄養バランスの整った食事を心がけること、加齢に伴い筋肉をつくる力が低下するので、意識してたくさんたんぱく質を摂る必要があることなど、フレイル予防に大切なことを参加者は学ぶことができました。また、新聞紙を使ったさまざまな健康体操も体験させていただき、「これならできる!」「楽しくできて体にもいいね!」などの感想も聞こえてきました。



生涯学習だより

生涯学習推進課
☎(83)7021

生涯学習係

松田文化財探訪

My 三宮尊徳翁小伝 その14

文化財保護委員 草門 隆

当町建立の金次郎像

私的なものを除き当町には2体2カ所の建立があります。

1体は松田小学校の像です。昭和8年11月に全国的にも、この頃が最も多く建てられています。撤去は昭和17年4月で「戦禍の鉄砲玉の原資」と揶揄され足柄上郡では当時14体が松田町に「櫓をかけた出生姿」で集められ、国へ供出されました。

像の再建は昭和26年7月で校庭の西端・後方は寒田神社境内です。



「松田広報」(平成12年12月号)より転載。所蔵は松田小学校(平成7年1月 神奈川新聞が発見を伝える)。大変貴重です。

当時この金次郎像について、先生から詳しく聞いた記憶はありませんでした。

そこで当時の松田小のY山先生(民話作りで有名)が、八十歳越の身で、今から約10年前に、「報徳ゼミ」に出席されたので、このことの事情をお伺いしました。その際、「時効」として固有名詞も出て、とんでもない話を伺い、時の先生たちのご苦労を知ることができるとともに、尊徳さんとは縁者のY山先生の忸怩たる想いも知りました。あと1体の像はJR松田駅前広場です。詳細は後述します。



筆者入学(昭和28年4月)像は崖状のトップに立つ